

アルペン強化事業について

2019年8月24日

東京都スキー連盟 競技本部アルペン部 強化部



強化事業の年間計画(2020年度版)

2020年度 SAT アルペン強化部 事業一覧

事業 No.	期間	事業名	申込み方法	対象	場所
1	2019年8月24日(土)	アルペンコンペティションセミナー	事前申込み不要 (現地受付)	強化、ユース育成、都連競技者	都内(明星学苑)
2-1	2019年8月25日、9月1日、10月6日(3回)	アルペン陸上トレーニング① 1)前期:KⅡ・ジュニア(中学～大学生)対象	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	都内(スタジオ)
2-2	2019年8月25日、9月1日、10月6日(3回)	アルペン陸上トレーニング① 2)前期:キッズ・KⅠ(小学生)対象	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	都内(スタジオ)
3	2019年9月22日(日)、23日(月祝)	アルペン陸上トレーニング② Workout Seminar(合宿)	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	都内(スタジオ)
4	2020年1月11日(土)	国体予選公開練習会	事務局窓口のみ	国体予選出場選手	長野県菅平高原
5-1	2020年1月17日(金)夜～1月19日(日)	アルペン雪上トレーニング① 1)ユース強化合宿	事務局窓口のみ	強化、ユース育成	長野県野沢温泉
5-2		アルペン雪上トレーニング① 2)国体・全中・インターハイ選手 強化合宿	事務局窓口のみ	国体、インハイ、全中選考選手	
5-3		アルペン雪上トレーニング① 3)公開練習会(現地参加)	事務局窓口のみ	都連競技者	
6	2020年1月25日(土)～1月26日(日) (未定)	国体強化合宿	事務局窓口 その他	国体選考選手	未定
7	2020年2月11日(火)夜～2月14日(金) (未定)	国体強化合宿	事務局窓口 その他	国体選考選手	国体会場周辺(未定)
8	2020年2月14日(金)夜～2月19日(水)	国体サポート	事務局窓口 その他	国体選考選手	国体会場
9	2020年3月22日(日)夜～3月25日(水)	アルペン雪上トレーニング② ジュニアオリンピック直前合宿	事務局窓口 その他	ジュニアオリンピック選考選手	長野県志賀高原
10	2020年3月25日(水)夜～3月29日(日)	ジュニアオリンピック大会サポート	事務局窓口 その他	ジュニアオリンピック選考選手	長野県志賀高原
11	2020年5月1日(金)夜～5月5日(火)	アルペン雪上トレーニング③	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	群馬県尾瀬岩鞍
12-1	2020年5月、6月、7月(3回)	アルペン陸上トレーニング③ 1)後期:KⅡ・ジュニア(中学～大学生)対象	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	都内(スタジオ)
12-2	2020年5月、6月、7月(3回)	アルペン陸上トレーニング③ 2)後期:キッズ・KⅠ(小学生)対象	事務局窓口のみ	強化、ユース育成、都連競技者	都内(スタジオ)

強化選手選考基準について

◆ 選考基準改定のポイント

- 選手強化の目的を明確化する。
- 強化部主管で選手サポートを行う「国体」と「ジュニアオリンピック」での成績向上を主目的とし、強化体制を再構成する。
- 「強化指定A、B、C」を廃止し、「国体強化選手A、B」、「ジュニアオリンピック強化選手A、B」「ユース育成」に再編し、選考基準を見直す。
- 選手強化の対象年齢は21歳以下(2019年4月1日時点)とし、「国体強化」は中学3年生以上、「ジュニアオリンピック強化」は次年度対象となるK1・K2クラスとする。
- 強化選手、育成選手としての強化学業への参加は、当該年度のSAT競技者登録選手に限る。
- 強化選手のほか、当該年度のSAJポイント150以下、FISポイント150以下の選手へは、公認大会への都連推薦選手とする。但し、大会要項の推薦枠を超えた場合は、強化指定選手(各カテゴリA→B順)を優先し、さらにその中からポイント順での推薦とする。(学生の場合、大会エントリーは各学校方針に基づくものとし、連盟から出場を促すものではない)
- 国体強化選手の選考対象は、都連競技者登録者で東京都在住または在学者とする。大学生は「ふるさと選手制度」の適用者は、この限りでない。
- ジュニアオリンピック強化選手の選考対象は、K2は東京都に在学者(都中体連所属または都連競技者登録者)とする。但し、K1は2019/2020都連競技者登録者。
- 「東京都アスリート認定選手」は強化選考基準から外し、ジュニアオリンピックで活躍が期待できる選手とし、都の認定基準に照らして別基準で認定する。
- 選考は2019年3月31日までの対象競技会の成績から行い、理事会承認を経て5月中旬までに対象選手に候補者(仮認定)として通知する。
- 最終認定は10月までの陸トレ等の体力面を加味して格付けし、本人確認(書類提出)の上、本認定とする。
- 適用年度は認定後、翌年4月までの強化学業の参加とする。
- SAT強化学業に不参加の者は強化支援不要と判断し、認定を解除する。(但し、都連推薦枠の公認大会へのエントリーは認める。)
- 年度内の昇格、降格および追加認定は行わない。
- 選考基準は、内外の情勢を踏まえ年度毎に見直し、改定していくものとする。

SAT強化指定選考基準

【国体強化選手 選考基準】(男女共通、U-21まで)

- 【国体強化選手A】(U-21、男女共通)
 - 全中15位以内(中2以上)
 - インターハイ15位以内
 - 国体15位以内
 - ジュニアオリンピック15位以内(中3)
 - 国体強化選手B候補者から都連が主催する合宿および陸トレ会で雪上技術およびフィジカル面で著しい選手は、コーチ推薦で格上認定する。
- 【国体強化選手B】(U-21、男女共通)
 - 全中予選3位以内(中3)
 - インターハイ予選3位以内(高1は5位以内)
 - 国体予選少年組4位以内(中3は国体通過者)、A組2位以内
 - 雫石ジュニアSG(K2カテゴリ)6位以内
 - ジュニアオリンピックSAT推薦2位以内(中3)

SAT強化指定選考基準

【ジュニアオリンピック強化選手 選考基準】(K2/K1、男女共通)

- 【ジュニアオリンピック強化選手A】(K2/K1、男女共通)
 - 全中10位以内
 - 雫石ジュニアSG (K2カテゴリ) 3位以内
 - ジュニアオリンピック10位以内
 - SAJ公認B級ユース大会優勝
 - ジュニアオリンピック強化選手B候補者から都連が主催する合宿および陸トレ会で雪上技術およびフィジカル面で著しい選手は、コーチ推薦で格上認定する。
- 【ジュニアオリンピック強化選手B】(K2/K1、男女共通)
 - 全中予選3位以内(中1は4位以内)
 - 雫石ジュニアSG (K2カテゴリ) 6位以内
 - ジュニアオリンピックSAT推薦2位以内(小5年は3位以内)

SAT強化指定選考基準

【ユース育成 選考基準】(K2/K1、男女共通)

- 全中出場(中1は予選10位以内)
- ジュニアオリンピックSAT推薦選手(中2以下、但し補欠繰上選手は除く)
- 関東ユースシリーズ(1戦・2戦・3戦) K2男子20位以内、K2女子10位以内
- 関東ユースシリーズ(1戦・2戦・3戦) K1男女10位以内
- 南関東ユース大会 チルドレンBカテゴリ 5位以内
- 南関東ユース大会 チルドレンK1カテゴリ 10位以内
- 育成選手候補者から都連が主催する合宿および陸トレ会で雪上技術およびフィジカル面で著しい選手は、コーチ推薦で格上認定する。

SATユース育成選考基準(小中学生、高1早生まれ)

【ユース育成】

- 関東ユース1・2総合成績(ジュニアポイント順位) K2男子15位、女子10位以内。K1男女10位以内
- 関東ユース3 K2男女10位以内(中3早生まれ以下)、K1男女10位以内
- 南関東ユース大会 チルドレンB 5位以内
- 南関東ユース大会 チルドレンK1 10位以内

2020ジュニアオリンピックの選考について

選考方針

- 「Team Tokyo」としての団体行動を自覚していただき、ジュニアオリンピックでの活躍が期待できる選手を選考する。
- 選考対象は、都連競技者登録者で東京都在住、在学者とする。（1都6県の関東ブロック協議会 共通事項として定義）
- 例) 全中予選を他県で出場した場合は、東京都推薦選手の対象としない。

2019ジュニアオリンピックの選考について

【K2の選考】

関東ユースⅡ 東京大会(大回転および回転)を選考レースとする。

- 関東ユースⅡ 東京大会で東京都選手の内部順位で上位30位にジュニアポイント付与する。(但し、大会リザルトで男子60位以内、女子50位以内がポイント付与の対象)
- ジュニアポイントは、ワールドカップ方式のポイントを付与。
- 大回転競技、回転競技、それぞれのポイント加算で選考する。
- 中3生および高1早生で国体選手選考者は予選を免除とし、プロテクトする。
- 選考枠内で同ポイントの場合は、SAJポイント(GSまたはSLのいずれか、同等の場合はGS優先)で上位者を選考する。推薦枠内でもジュニアポイントがノーポイント(0点)の場合は推薦枠内でも選考しない。
- 大会中止等でジュニアポイント付与ができない場合は、競技本部長推薦で選考する。その場合、関東ユースⅡ 東京大会開催予定日時点でのSAJポイントの上位者および全中予選の結果等を参考とする。
- 選考後、辞退者(期日内)の申し出があった場合は、1名の補欠者から繰り上げで推薦する。但し、それ以上の繰り上げ推薦は、枠内であっても追加しない。

2019ジュニアオリンピックの選考について

【K1の選考】

関東ユースⅡ東京大会(大回転および回転)、関東ユースⅢ神奈川大会(スーパーG 2連戦)を選考レースとする。

- 各レースとも他県選手の順位を含めたりザルト順に上位30位にポイント付与する。(都連選手内の順位ではない)
- ポイント数は、ワールドカップ方式のポイントを付与。
- 大回転競技、回転競技、スーパーG2戦、それぞれのポイント加算で選考する。選考枠内で同ポイントもしくはノーポイントで選考不可の場合は、関東ユースⅢ神奈川大会の最終日レースでの上位者順に選考する。
- 大会中止等で4レース共、ジュニアポイント付与ができない場合は、競技本部長推薦で選考する。
- 選考後、辞退者(期日内)の申し出があった場合は、1名の補欠者から繰り上げで推薦する。但し、それ以上の繰り上げ推薦は、枠内であっても追加しない。